



富士川ふれあいスポーツ広場

かけはし

第191号
2024年5月発行

発行：峡南教育事務所
教育支援スタッフ（地域教育担当）

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144
HPでも御覧になれます。
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



南巨摩合同庁舎

目次:

峡南教育事務所長あいさつ	1
ことぶき勸学院 入学式・開講式 新採用教員辞令交付式	2
身延中学校始業式 身延山高校清掃 ボランティア 地推協という組織	3
地推協・峡南教育事務所 共催講演会のお知らせ 峡南教育事務所 スタッフ紹介 峡南教育事務所より	4



富士川町立図書館

コロナウイルス感染症も5類に移行され、コロナ前の日常が戻ってきました。時間を見つけて、各町にある身近な公園で体を動かし、雨の日には図書館で本を読みませんか。今年度もよろしくお願ひします。

令和六年度 峡南教育事務所長 木内 寛 あいさつ

Society5.0（ソサエティ5.0）という言葉は、どのくらい社会に浸透しているのでしょうか。みなさまは、耳にしたことがありますか。この言葉は、政府が「我が国が目指すべき未来社会の姿」を形容して、平成二十八年に初めて登場したようすちなみに、

Society1.0は「狩猟社会」、Society2.0は「農耕社会」、Society3.0は「工業社会」、Society4.0が、インターネットやスマートフォンなどの普及によって、世界がネットワークで繋がった現代の「情報社会」を意味するそうです。そして、未来社会である Society5.0は、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課

題の解決を両立する人間中心の新たな未来社会」と説明されています。例としてあげられているのは、「自動運転」や「ドローンによる商品配送」、「キヤッシュレス決済」など、「AI（人工知能）」を駆使して、人口減少と少子高齢化という現代社会の課題にこたえようとするものが目立ちます。また、令和三年には、Society5.0は、「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人一人が多様な幸せ（well-being）：ウェルビーイング）を実現できる社会」とも説明されています。

さて、こうした変化の激しい時代において、未来は予測が困難であると言われています。では様々な背景を抱えたすべての子供を受け入れる公教育はどうあるべきでしょうか。みなさまのご意見をお聞かせください。学習指導要領では、学校に「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになること」を求めています。

教育事務所は、学校・家庭・地域社会と連携して、時代の要請に応じた取組を進めながら、学校教育や社会教育が充実するように指導・助言を行うことを役割としています。とりわけ、保幼・小・中・高と続く公教育のあるべき姿について、みなさまとのコミュニケーションを基に協働して、現代社会の課題を解決し、well-beingな未来社会を目指すために、手を携えていき

木内 寛 所長



ことぶき勸学院便り 新年度がスタート

令和六年度入学式

四月十九日(金)にYCC県民文化ホール小ホールにおいて令和六年度「ことぶき勸学院」入学式が開催され、県内全体で一・二三名の新入生を迎えました。本年度も県下の一年・二年生が一堂に会し、



副知事をはじめとする多数の来賓をお迎えする中で実施することができました。入学に際し、降旗学院院长からは、「健やかに人生を送るためには、与えられた命と体に感謝して、慎み深く、そして自分の人生を楽しんで生活すべし。」



(貝原益軒「養生訓」より)という言葉が贈られました。また梨学院大学スポーツ科学部教授である上田誠仁さんを講師に迎え、パフォーマンスを交えな

から「支えられ・助けていただいた人生でした。そしてこれからも・・・」という演題での講演会も行われました。ご自身の体験から大切にしている言葉をいくつか紹介していただきました。特に、「疾風知勁草」は書道パフォーマンスを交えて語られていました。また甲府第一高校アカペラ部による発表も聴きました。特に「花は咲く」は会場の勸学院生たちも一緒に口ずさみ、非常に感慨深いものになりました。



一年生 開講式
新入生二一名を迎え、開講式が行われました。木内所長より「学ぶことの大切さ、勸学院での活動が皆さまの楽しみとなり、学びが広がり、人と人のつながり、豊かにすることを願っています。」



今村弘樹先生

令和六年度峡南教室担当紹介
昨年度から引き続き、今村弘樹先生が担当をします。前職は身延中学校の校長先生でした。今年度もよろしく願います。

います。」と励ましの言葉が贈られ、新入生代表の井上孝さんが「出会いを大切にし、明るく楽しく、仲間と協力し、本物の芸術や文化に触れながら感性を高め、明日への生きがい作りに取り組んでいきたい。」と誓いの言葉を述べました。開講式終了後、学級会が行われ学級委員長に高倉昭二さんが決まりました。雰囲気がよく、学級会における役員選出や係決めもスムーズに進みました。

二年生開講式

二六名が二年生に進級しました。始めに、木内所長が「ことぶき勸学院に集う理由は様々だと思えますが、本学院での活動が皆さまの楽しみとなり、学びの広がりと同時に、人と人のつながりをさらに豊かなものにしていただける機会となることを願っています」と励ましの言葉を述べ、二年生代表の阪本俊美さんがユーモアを交えながら代表の挨拶をしました。本年度はコロナ前のように様々な活動ができることをとても楽しみにしているように感じました。充実した活動を行い、3月の卒業を迎えられるように、頑張りたいと思います。



令和六年度

新採用教職員辞令交付式

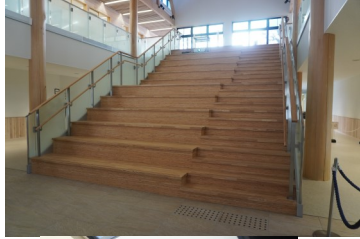
四月一日(月)に南巨摩合同庁舎三階大会議室で、小・中学校新採用者の辞令交付式が行われました。新採用教職員十四名(小学校教諭八名・中学校教諭三名・養護教諭一名・事務職員二名)を代表して、市川小学校の今村祐太先生が県教育長代理の木内所長より辞令を交付され南部中学校の石原一樹先生と市川小学校の芦澤稔梨事務職員が緊張と希望に満ちた表情で服務の宣誓を行いました。この十四名が峡南地域の新しい力として急激に変化する時代の中で、若さと情熱を持って地域の未来を担う子どもたちの教育に当たることになります。子どもたちと笑顔で日々過ごせるように頑張ってください。よろしく願います。



身延中学校 始業式

新校舎での新たな一歩

四月五日(金)、身延中学校では新校舎で新年度がスタートしました。始業式は水色の床の体育館に新二・三年生が整列し、校歌が響き渡りました。渡邊校長先生より「進級したので、一人ひとりが成長をして次のステージで活躍してください。また新しい校舎で生活できる感動を忘れずにいてください。そして携わってくれた多くの方に感謝をして校舎を使用しましょう」とお話がありました。



も教職員も、緊張の中にも期待感が感じられる令和六年度のスタートとなりました。

身延山高校 清掃ボランティア(地域に貢献する)

身延山高校の三年生が五月二日(木)に多くの観光客が本栖湖を訪れる中、本栖湖の身延町側湖畔のゴミ拾いをしました。目的は地域貢献とゴミを拾うことで綺麗な心になることにあります。以前は峡南高校が行っていた本栖湖清掃活動ですが、峡南高校が閉校になり、身延山高校にお声がかかり、コロナ感染症が五類に引き下げられたことを受け、今回この行事が行われました。身延山高校はボランティア(JRC)委員会を中心に清掃計画を立案、準備が行われ、道路沿いや湖畔からおよそ軽トラック一台分のゴミを拾い集めました。このような活動を続け、身延山高校の伝統行事にしていきたいです。



「地推協」という組織

地推協(ちすいきょう)とは、地域教育推進連絡協議会の略称であります。地域教育推進連絡協議会とは、峡南地域5町の教育委員会、役場(生涯学習・子育て支援・社会教育等)、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校・支援学校、地域(育成会等)や保護者(PTA)の方々等、二三団体により平成一七年二月に設立された大きな組織です。基本的な方針は次の3つです。

※子どもの健全育成に係わる学校・行政・団体などが、地域の中で連携できる環境づくりに努める。

※保・幼、小、中、高、支援という異校種の交流・連携や、子どもたちが生活する地域との連携を図ることで青少年の健全育成を推進する。


※地域における教育関係情報の共有を通して相互の連携を図る。例年3回の講演会を開催しております。(4ページに掲載)お忙しいとは思いますが多くの人の参加をお待ちしております。

令和6年度 峡南地区 研究指定校・事業推進校・協力校

	事業名	期間	推進校
継続事業	連携型中高一貫教育実施事業<県> (身延南部地域中高連携推進検討委員会)	R1~	身延中学校 南部中学校 身延高校
	道徳教育研究推進校事業<国>	R4~6	富沢小学校 10月18日公開
	新たな学びの姿に向けた 授業改善推進事業<県>	R5~6	鯉沢小学校 10月25日公開
新規事業	初任者研修授業研修会実習校<県>	R6	上野小学校 身延中学校
	生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり 推進事業<日本学校歯科医会>	R6準備 R7~8	大塚小学校

文部科学省、山梨県教育委員会等の研究指定を受けて教育活動に取り組んでいる管内の小・中・高等学校の事業を紹介します。



<p>令和6年度 峡南地域教育推進連絡協議会・峡南教育事務所 共催</p> <p>講演会のお知らせ</p> <p>*感染症の状況により中止・延期・オンライン開催の可能性あります。</p> 	<p>【講演会峡南地域人権講演会】</p> <p>7月5日(金) 14:40~ 身延町総合文化会館</p> <p>○講演 「子どもたちの心をどう育てるか」(仮題)</p> <p>日本学校教育相談学会山梨県支部長 公認心理師 内藤 雅人 氏</p>
<p>【峡南地域教育フォーラム】</p> <p>8月21日(水) 14:00~ 身延町総合文化会館</p> <p>○講演 「山梨から世界を目指した宇宙エンジニア」(仮題)</p> <p>元JAXA宇宙教育指導者 宮川 広 氏</p>	<p>【峡南地域異校種連携・子育て学習会】</p> <p>11月15日(金) 14:00~ 身延町総合文化会館</p> <p>○講演 「地域で育む乳幼児期からの育ち・学び」(仮題)</p> <p>山梨大学准教授・博士 大野 歩 氏</p>

令和6年度 峡南教育事務所スタッフ紹介

本年度は5人の新しいメンバーを迎えました。「総務・教育支援(地域教育担当・学校教育担当)」のスタッフで峡南地域の教育を支援します。どうぞよろしくお願ひします。

所長 木内 寛
次長 林 美保
事務所のすべてを統括する二人です。

総務スタッフ
三井 徹也 長久保 将
大芝 一仁 望月 由美
教職員の給与や旅費各種手当に関する
ことを担当しています。

教育支援スタッフ
(学校教育担当)
岡部 美登志
笠井 保夫
有泉 満
(地域教育担当)
宮澤 研
有泉 浩明

学校訪問での指導・助言、教職員の研修・研究会や教育相談に関すること、教科書採択事務の指導・助言、学校保健・給食・安全指導など、学校教育に関わる多くのことを担当しています。

学校や町教育委員会と連携して、地域教育・社会教育・生涯学習の支援をしたり、「かけはし」の発行をしたりしています。

アドバンス
ティーチャー
熊谷 正
経験三年以内の教員の資質向上のため、訪問指導を行います。

スクールソーシャルワーカー(SSW)
中野 良男
飯田 勝也
学校訪問、児童生徒・保護者・教職員の支援・相談・情報提供を行っています。

峡南教育事務所より

☆令和3年度から「峡南地区『地域教育推進活動』に係る関係各機関の施策・事業年間計画一覧は「地域教育推進活動事業一覧」と名称を変えて、峡南教育事務所のホームページ(<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>)に掲載しています。

ご協力いただいた事業所の方々、ありがとうございました。なお、各行事は新型コロナウイルス感染症の状況により延期・中止の場合もありますので、事前にご確認ください。

☆情報提供のお願い

地域教育情報誌「かけはし」は社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することが目的です。地域での交流行事や、社会教育・生涯学習に関する取組や行事をご紹介ください。今年度もぜひご愛読をお願いします。 TEL 0556-22-8154